

次期 食品安全推進計画 戦略的プラン策定の考え方について(案)

～ 食に対する都民の不安を解消し、信頼を確保するために～

現計画策定以降に発生した新たな課題の整理

都民の食に対する信頼の確保

様々な事件発生による都民の不安の増大

健康危機発生時の迅速な対応

輸入冷凍餃子等による健康被害の発生

海外情報・学術情報の幅広い収集

食品に工業原料であるメラミンの不正添加など、想定し得ない事例の発生

食品事業者のコンプライアンスの向上

事故米の不正流通、表示偽装の多発

食品事業者の自主的衛生管理の更なる推進

ノロウイルスやカンピロバクターによる食中毒の増加

食物アレルギー対策の推進

食物アレルギーの増加

行政機関の一層の連携強化

消費者庁設置

偽装表示に対する不正競争防止法の適用

考え方のポイント

今後 5 年間に向けての施策の方向性を示す。

施策の方向性を踏まえ、今後 5 年間に重点的・優先的に取り組む戦略的プランを策定する。

施策の方向性(案)

- 1 食品の事業者の自主管理を向上するための施策の充実
- 2 健康危機発生時の迅速な対応
- 3 食の信頼確保に向けた情報提供の充実
- 4 食品の安全確保の基盤の充実